ニュース明誠

MEISEI HIGH SCHOOL MN SINCE 1957
発行
明誠高等学校

速報 変わる！明誠高校

新制服『コム サ デ モード』を採用！

COMME ÇA DU MODE

「明誠高校が変わる。」学校創設50年の伝統を大切にしながらも、現代のニーズにあった新しい発想を加えることにより、より良い〝学校づくり〟を目指す。学校マーク・ホームページ・制服など、今後続々と新しい試みにチャレンジし、地元益田でさらに愛される高校へと変身していく。

第1弾 学校マーク

明誠高校のシンボルマーク（右下掲載）を制定した。今後いろいろな場面でこのマークを使用し、新たなスクールイメージの確立をしていきたい。

第2弾 ホームページ

6月中旬よりホームページを刷新する。たくさんの明誠高校関係者ならびに、一般の方にとって、便利で分かりやすいホームページづくりに心掛ける。

更新にも力を入れ、リアルタイムな情報を発信していきたい。

第3弾 制服

平成19年度より男女の制服を一新。コンセプトは〝凛として美しい〟。

女子制服改定は平成4年以来15年ぶり。モダンな中にも、清楚で機能性に富んだ制服を選考した。また併せて男子制服も新規に採用した。

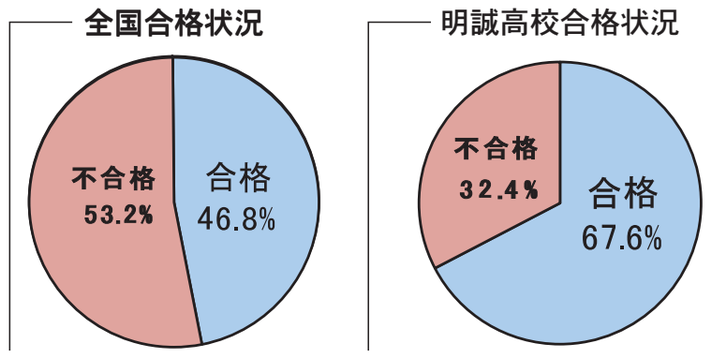
詳しくは次号（9月発行）で紹介する。乞うご期待！

※この他にも新企画がたくさん。

明誠高校　新制服

国家試験 合格者数26名 合格率67.6%

全国合格率を大きく上回る（平成17年度）



福祉科

福祉科では、生徒32名が介護福祉士国家試験（1月1次・3月2次）に挑んだ。うち26名が見事国家資格を手にした。本校の合格率は67・6%、全国平均46・8%を大きく上回る結果となった。本年より新規に国家試験取得のため介護技術講習会がはじまり、不透明な状況の中でも、介護技術講習会受講生の26名全員が合格修了書を取得し、このような結果を得ることができた。平成17年度福祉科卒業生は、福祉施設関係就職20名、高看・リハビリ・福祉系（社会福祉士・臨床心理士）進学7名、実に73%が福祉関係の進路に就いた。

情報科

今年3月、「情報科」となり初めての卒業生が、明誠高校を旅立っていった。情報科では、ビジネスマナー教育・教科（情報・簿記・商業技術ほか）や、インターンシップ（体験的学習）などさまざまなプログラムを取り入れ、個々の進路実現に向けさまざまな取り組みを行っている。また、専門性を高め、上位検定資格を取得するとともに、魅力ある人間性豊かな人材の育成を図っている。高校3年間で取得した検定資格は、就職・進学にも大いに役立っている。平成17年度卒業生では、地元就職難の中でも健闘し、山陰合同銀行をはじめ優良企業に就職することができた。

普通科

確かな学力で『Only One』を目指す。普通科では基礎学力の充実を図り、ていねいな指導できめ細やかに生徒一人一人の夢をバックアップしている。知識の詰め込みだけに偏重せず、バランスよく幅広い活動から潜在能力を引き出す生活環境がある。『大学をはじめ、短大、専門学校などの上級学校への進学を目指して勉強も頑張りたい』、『クラブでも思う存分活躍したい』、という意欲的な人にピッタリの学科である。平成17年度卒業生では、学業と部活動（キャプテン）を両立させ、早稲田大学への進学を決めるなど自分の持ち味を生かした進路を決めた。

知る喜びを

学校長　吉岡了司

福沢諭吉が創設した慶応義塾から、明治時代以後、日本社会を指導した優れたリーダーがたくさん輩出されました。慶応義塾が設立されたのは明治維新政府軍が江戸にせめてきた最中で江戸の町は混乱していました。そんな中、「学問と学ぼうとする姿勢が明日の日本を作る力となる」という信念の下、塾生達に「学問をする者は世間の動きなどにまどわされてはならない」と励ましたと言われます。時代は江戸時代から明治時代へと大きく変わろうとして人々は混乱し大きな不安に包まれていましたが、まさに今、日本の社会が大きく変わろうとしているという点では同じです。

私は皆さんに社会の良きリーダーとして、人々に幸せと安心、夢をもたらす社会を実現する先頭に立ってもらいたいと願っています。そのためにも、世間の動きなどにまどわされず、学習が自分のために役に立つという強い信念を持って勉学に励んでもらいたいと思います。そして、真剣に学ぶ中から将来の夢を育んで欲しいと思いますが、夢は学んで知る喜びの中から見つけ出すことに大きな価値があります。知る喜びはもっと知りたいという気持ちを引き起こし新しい世界が広がり、やがてその中から自分が本当に興味を感じること、自分が本当にやりたいことが姿を現してきます。それこそが将来の夢であり学ぶことの大きな収穫です。

本校での生活が将来の夢を育む「学んで知る喜び」に満ち溢れたものであることを願っています。

希望に夢膨らませて

新入生を迎え新年度スタート

四月十二日、さわやかな春の日差しの中、これから始まる新しい高校生活に胸を膨らませ、新入生が校門をくぐった。来賓、保護者の方々や、教職員の暖かい眼差しに見守られながら、厳かに入学式が行われ、卒業式後、少し寂しかった明誠高校に、また、活気が戻った。

新入生代表宣誓では、須佐中学出身の齊藤美穂さんが、「伝統がある中にも、常に新しい事を取り入れている明誠高校で、自分の夢を叶えるために努力し、三年後、この学校に入学して本当に良かったと、笑い合えるような高校生活を送りたい。」と決意を述べた。

入学式新入生代表宣誓

ピックアップstudent! サッカーを通じて

一年福祉科　山根　直哉　君（高津中）

高校に入学して約一ヶ月経ちました。初めは不安だらけの高校生活でしたが、今は慣れ楽しい毎日を送っています。部活は、サッカー部に入部しました。サッカー部の先輩はみんな優しく、高い目標に向かって練習しています。部活動を通して精神面・体力面・技術面のレベルアップが出来るように頑張ります。

PTA総会 華麗に変身 ビフォー・アフター

美容専門学校を招いて実技講演会

生徒をモデルにプロが魅せる

5月21日、PTA総会の特別講演として、大阪・神戸ベルエベル専門学校から講師6名を招き、本校体育館で生徒・保護者・教職員を対象に開かれた。講演会では「社会人として必要なマナーについて（技術職を通して）」と題し、社会人になるための準備段階として、高校生が持つべき必要なマナー、高校時代にやるべき事について専門学校講師・技術職のプロとしての立場より話しがあった。また、3年5組の野上実咲さんをモデルに、一流アーティストにより、短時間で制服姿（ビフォー）からウエディングドレス姿（アフター）に華麗に変身し、場内から熱いまなざしを受けていた。モデルを引き受けた野上さんは「将来は美容関係の仕事を考えていたが、今回の体験で更にその気持ちが高まった。」といっていた。

花嫁さんに変身

心もきれいになった一日

5月24日午後、「クリーンデイ」が実施され、全校生徒、教職員が一丸となって、学校周辺の清掃作業を行った。晴天の中、近隣の溝掃除から周辺道路の草とり・ゴミ拾いなどを行い、汗びっしょりになりながら一生懸命に行った。生徒会長の水津悠太君は「みんなの協力で予想以上にきれいになった」と満足そう。作業終了後の閉会ではみんなのとても爽やかな笑顔が印象的で、学校周辺も心もきれい（クリーン）になる一日（デイ）だった。

みんなできれいに!!

楽しく球技大会開催

5月1日さわやかな五月晴れのもと、校内球技大会が開催された。各クラス対抗戦で、優勝したチームは、7月に行われる益田地区大会への出場権を得るということで、楽しいなかにも、白熱した試合が終日行われた。各優勝チームは以下のとおり。

男子優勝	バスケット	3年3組
	サッカー	2年2組
	卓球	3年3組
	バレー	3年2組
女子優勝	バスケット	3年5組
	ソフト	2年3組
	卓球	3年4組
	バレー	2年3組

卓球女子団体 三年連続十一回目の優勝

シングルス・ダブルスも上位独占！ 男子団体準優勝！

ダブルス制覇の
町田詩歩さん（写真左）
大庭咲陽子さん（写真右）

このほど中国高校卓球大会県予選がおこなわれ、女子卓球部は団体で3年連続11回目の優勝を果たし、ダブルスでは、町田詩歩（境川中）・大庭咲陽子（益田中）組が優勝・シングルスも大庭咲陽子が優勝のほか上位を独占し他を寄せ付けない圧倒的な力を見せた。また、男子団体では決勝戦で惜敗したが、ダブルスでは大内健裕（小野中）・山本祐馬（温泉津中）組が優勝を飾った。男女12名が6月16日から鳥取市で行われる中国大会の出場権を獲得した。

岸卓臣顧問の談話！！！

女子は力どおり上位独占を果たすことができた。ぜひ「中国大会団体優勝」を狙いたい。男子は団体決勝戦で、前半2－0とリードしつつも逆転負けを喫し悔しい思いをした。インターハイ県予選で勝つため、日々練習に精一杯取り組み、必ず勝ち、男女揃って大阪インターハイに出場したい。

大会報告

ソフトテニス部 県総体西部地区予選 団体第2位

このほど島根県高校総体ソフトテニス競技の西部地区予選がおこなわれ、本校ソフトテニス部は第2位に入賞し、本大会への出場とシード権を獲得した。

キャプテン寺戸絵里子さん（真砂中）の談話

この予選は優勝こそ逃しましたが、最低ラインと思っていた第2位を獲ることができました。少ない部員ですが、部員9名の気持ちを一つにして県チャンピオンという目標を成し遂げたいです。

三浦浩二顧問の談話

技術の高低よりも、時間をかけて積み上げてきた努力に対する自信が明誠高校の強さです。そのことを後輩達に伝え続けていくことが、明誠高校ソフトテニス部の伝統です。県総体ではベストを尽くし戦います。

女子バスケットボール部 中国高校バスケットボール大会県予選 第6位

このほど中国高校バスケットボール大会県予選がおこなわれ、第6位の成績を収めました。

キャプテン森下涼子さん（小野中）の談話

2回戦の松江商業高校戦が1番の山でした。3月末の大会では勝利しましたが、今回は惨敗でした。原因は、決定力と精神力の差だと思います。シュートミスの差はなく、悔しいです。必ず県総体に生かします。

田中伸子顧問の談話

総体までの課題は「決定力」。これを確実にするためには精神力が問われる。今大会はチャンスがあったが、結果は第6位。そこにある壁をなかなか越えられないのは、精神面がまだ弱いから。一皮むければ総体では必ず勝てる。

陸上部 島根県陸上競技選手権大会

李原恵美　走高跳　第2位　中国大会出場
安田淳博　一般円盤投　第5位　中国大会出場

キャプテン安田淳博君（青陵中）の談話

県総体前最後の大会で、調整のためにも重要な大会でした。自分の足りない点を発見し、県総体では一人でも多く中国大会に行けるよう頑張りたいです。

市川哲男顧問の談話

今大会では、多くの選手が自己ベスト記録を出すことができた。自分の直すべきところを理解できたはず。県総体での活躍を期待したい。

特集 夢をかなえた卒業生

卒業生企画第一弾として、今年3月卒業に福祉科を卒業した板井彩さんを紹介したい。

板井さんは卓球を志し、親元を離れ大阪市より明誠高校に入学し三年間寮生活をおくった。明るくて責任感が強く、卓球部ではキャプテンとしてチームをまとめ、全国高校総体では団体ベスト16・ダブルスベスト16に導いた。またクラスでも学級委員長を歴任した。

現在は地元の大阪に戻り東証一部上場企業の上新電機で販売の仕事に就いている。

板井彩さんからのメッセージ

みなさんお元気ですか？私にとって明誠高校そして卓球部での3年間は大きな思い出です。私は高校3年間、他の卓球部員に比べて一番多く先生に怒られました。しかし先生方に厳しく指導していただいたことをとても感謝しています。明誠高校に入っていなかったら今の自分はないと思います。

さて私は、あの阪神タイガースのスポンサー企業の上新（joshin）電機で働いています。

社会人は、報酬を得るため仕事に責任感を持ち、最後までやり遂げることが要求されます。もちろん自分から積極的に聞いたり、話したりすることも必要です。また仕事を的確におこなうためメモをとることは欠かせません。「働くことはたいへんなことだ」と毎日実感していますが、私も精一杯頑張りますので、後輩のみなさんも高校生活をしっかりがんばってください。

接客はいつも笑顔の板井　彩さん

体験入学　予告！

次の日程にて、平成19年度入学生（現中学3年生）を対象にした体験入学を実施します。楽しい体験を豊富に準備し多数の参加を待っています。詳しくは各中学校を通じて連絡します。

第1回　平成18年8月8日㈫
第2回　平成18年8月9日㈬
第3回　平成18年8月22日㈫
第4回　平成18年8月23日㈬

ご案内

隆誠会総会
平成18年6月23日（金）19時～
中島町　「一葉」

三会（PTA・商栄会・隆誠会）合同懇親会
平成18年7月21日（金）19時～
中島町　「一葉」

商栄会総会
平成18年8月14日（月）15時～
幸町　「三好家旅館」

PTA親睦球技大会・懇親会
平成18年9月8日（金）18時30分～
球技大会　あけぼの町
「益田ボーリング」
懇親会　高津　「美庵」

※会員のみなさまには後日ご案内状をお送りします。多数のご参加お待ちいたしております。